



## 地下街探検

### 第二回 新宿サブナード

新宿駅東口、靖国通りと柳通り下に広がる「新宿サブナード」は、前回取り上げた八重洲地下街と同様、都心の巨大ターミナル駅前に駐車場と一体開発された地下街だ。

靖国通り下が一九七三年オープン、靖国通りから新宿通りにつながる柳通り下が七五年オープンで、モーターゼーションの急激な発展に対応し、路上駐車対策と歩行者の安全確保を期して計画された。靖国通りは、JR新宿駅と西武新宿駅や歌舞伎町方向を隔てる大きな通り。ここを新宿駅方向から来るお客さんに安全に横断してもらいたい、そして西武新宿駅とJR新宿駅との行き来を地下道で便利にしたいということも、この「サブナード」の建設意図だ。

新宿歌舞伎町は、戦後復興でできた繁華街であり、その傍らに位置する西武新宿駅は地元が誘致して一九五二年に西武線が延伸し開業したもの。サブナードの誕生にも歌舞伎町ほか地元の商店街の努力があった。

JR新宿駅から新宿三丁目方面に続くメトロプロムナードから、エスカレーターのあるサブナード入口に入る。ここが新宿駅側からのメインエントランスとなっていて、サブ

ナードというと、この場所を思い浮かべる人も多いことだろう。

エスカレーターを下った先の通路沿いに並ぶのは女性向けファッションの店。二十、三十代向けの服、雑貨、アクセサリーなどの店が多く、華やかな雰囲気。通りの向こうにある歌舞伎町の客層は男性が主というイメージだが、ここサブナードは意外なことに女性向けのテナントが多いのだ。館内にある書店も最近、女性を主要ターゲットにリニューアル。

飲食店も人気のイタリアンや和食オーガニックなど、女性に人気がありそうな店が揃っている。テナントには、牛タン「ねぎし」、中国料理「新宿秀山」、菓の「龍生堂」などと、新宿発祥の店が出ているのも地元色があっている。

朝夕は西武新宿線とJR・地下鉄を乗り継ぐ通勤客などが多数行き来する新宿の街の重要な動線でもある。

### 地下街コラム

サブナードには、歌舞伎町の後背地という立地ならではの「三丁目」エリアがある。このターゲットは歌舞伎町で働く女性たち。お店に出る時のための華やかなドレスの店、そのほかにもウィッグ、舞台化粧用品、美容室などが並んでいる。また、アクセサリーやバレエ用品、オータースーツ、輸入食器など、趣味や目的別の個性的な店が揃っているのも特徴だ。